

協定書に署名した片岡市長(左から2人目)、菅波代表(中央)、梶市長(右から2人目)ら

丸亀市・AMDAとの災害時応援協定締結式



災害時に相互応援

総社、丸亀市とAMDA協定

物資提供や職員派遣

総社、丸亀市と国際医療ボランティアAMDA(本部・岡山市北区伊福町)は30日、3者間で災害時相互応援協定を結んだ。大規模災害時、互いに物資の提供や職員の派遣を行うほか、近い将来の発生が懸念される南海トラフ地震に備え、支援体制を整える。

岡山市で締結式があり、両市長とAMDAの菅波代表が協定書に署名。総社の片岡聡一市長は「これを機に相互支援の輪をより一層広げたい」、丸亀の梶正治市長は「丸亀を

拠点に後方支援ができる力を蓄えたい」と述べた。菅波代表は「自治体の総合力とわれわれのネットワークを最大限に生かした活動を行いたい」と話した。

総社市とAMDAは2013年、県立大を

含めた3者で「被災地連携支援協定」を締結しており、広島市の大規模土砂災害でも物資提供などで協力。有事の相互支援に向け、高

速道路や鉄道が走り四国の都市の中でも拠点を高いとして、丸亀市と協定を結ぶ運びとなった。

(伊丹友香)